

平成30年度予算見積調書

課室名：義務教育指導課

担当名：学力向上推進・学力調査担当

内線：6752

(単位：千円)

| 番号 | 事業名 | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | |
|------|--|------|--|-----|-------|---------|-----------|------------|
| B66 | プログラミング教育推進事業 | | 一般会計 | 教育費 | 教育総務費 | 教育連絡調整費 | 指導内容研究推進費 | |
| 事業期間 | 平成30年度～平成31年度 | 根拠法令 | 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第48条 | | | 宣言項目 | | |
| | | | | | 分野施策 | | | |
| 1 | 事業概要 | | 5 事業説明 | | | | | |
| | <p>小学校段階でプログラミング的思考を育成するための授業実践例を蓄積し、公開することで、32年度からの新学習指導要領実施時に円滑にプログラミング教育を開始する。</p> <p>小・中学校段階で、近接の工業系・情報系高校や大学、民間企業等と連携した発展的プログラミング教育ができる学校を増やすとともに、自らICT技術などを作り出す人材を育成する。</p> <p>(1) プログラミング的思考の育成 1,238千円 (2) 発展的プログラミング教育の実施 738千円</p> | | <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 小学校にプログラミング的思考の育成に係る授業実践事例を委嘱し、全県への普及を図る。 1,238千円 イ 小・中学校に発展的プログラミング教育の実践研究を委嘱し、全県への普及を図る。 738千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア プログラミング的思考の育成 県内の小学校8校に研究委嘱し、プログラミング的思考の育成に係る実践事例集の開発を委嘱する。研究委嘱校同士の情報共有・連携を実施する。 研究成果を全県に普及する。</p> <p>イ 発展的プログラミング教育の実施 県内の小・中学校各1校に研究委嘱し、発展的プログラミング教育の実践研究を委嘱する。研究委嘱校同士の情報共有・連携を実施する。 研究成果を全県に普及する。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 小学校段階におけるプログラミング教育の円滑な実施。 イ プログラミング分野で将来の日本（埼玉）を支える人材の輩出。</p> | | | | | |
| 2 | 事業主体及び負担区分 (県10/10) | | | | | | | |
| 3 | 地方財政措置の状況 なし | | | | | | | |
| 4 | 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円 | | | | | | | |
| 予算額 | | | 財 源 内 訳 | | | | 一般財源 | 前年との 対比 |
| 決定額 | 1,976 | | | | | | 1,976 | 1,976 |
| 前年額 | 0 | | | | | | 0 | |